

調査ご協力をお願い

研究名：札幌市内の在宅療養支援診療所で開始した皮膚科往診についての実態調査

① 研究の目的（試料・情報の利用目的及び利用方法）

2022 年の本邦の高齢化率は 28.9%で増加の一途を辿っています。訪問診療の利用者数は多くの地域で今後も増加し、305 の二次医療圏において 2040 年以降に訪問診療利用者数のピークを迎えること、年齢とともに訪問診療の受療率は増加し、特に 85 歳以上で顕著となることが報告されています。

高齢者は複数の疾患を有していることが多く、一般に訪問診療では広く全身を診ることが多いですが、眼科や耳鼻科、皮膚科などの専門性の高い疾患への対応は困難な場合も散見されます。特に皮膚科領域においては、在宅療養者の 7 割超に皮膚疾患が認められることが過去に報告されており、皮膚科医による自宅への往診が求められている一方で、採算などの問題から皮膚科往診を行う医療機関は少ないのが現状ですが、日々の訪問診療の中で、居宅・施設を問わず皮膚科往診ニーズが地域に相当数あることを実感しており、この度常勤の皮膚科専門医による皮膚科往診を開始し、その実態を調査するため、本研究を計画しました。

② 倫理審査

本研究は、医療法人社団平郁会 倫理委員会（承認番号：2024-1）で承認を得ています。

また本研究に関係する全ての研究者は、「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、本研究を実施します。

③ 研究実施施設及び責任者

研究実施機関の名称：札幌在宅クリニックそよ風

研究代表者：飯田 智哉

④ 研究実施期間

研究実施期間：倫理委員会承認の日より 2024 年 12 月 31 日まで

⑤ 利用する試料・情報

本研究で得られる情報は本研究のみに用いられ、他の機関に提供されることはありません。本研究は当院単施設のみにおける後ろ向き研究で、基本的に診療録に基づいて情報を収集します。具体的には、年齢、性別、居住先(居宅/施設)、施設の種類、紹介元、訪問診療の有無、往診を要する基礎疾患、皮膚科主病、治療、転帰、などの情報に当たります。個人が特定できる情報や、ID 番号は研究には利用しません。研究データ上にも

残りませんので、本研究から個人情報が流出することは基本的にありません。また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が漏出する可能性は極めて低く、患者様に危険や不利益が生じることはありません。

⑥ 研究への利用を停止する場合

患者様においては、得られた情報の研究への利用をいつでも停止することができます。研究に不参加となった場合も、患者様に不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

⑦ 連絡先

研究利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

札幌在宅クリニックそよ風

〒004-0841 札幌市清田区清田 1 条 4 丁目 5-52

電話番号：011-888-0808 FAX：011-888-0888

担当医師：飯田 智哉